

ボランティアだより

ほのボラ

2018年8月発行 No. 59

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0213

京丹波町須知鍋倉1番地1

TEL: 0771-82-0126 (地域福祉課)

FAX: 0771-82-2206

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>



京丹波町災害ボランティアセンターNEWS



平成30年7月豪雨災害により被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

今回の豪雨災害による被災地支援を行うべく、京丹波町で初めて災害ボランティアセンターを立ち上げました。センター運営期間中は泥出しや家具の運びだし等の支援活動に延べ合計147名の方々にご協力いただきました。

京丹波町災害ボランティアセンター ボランティア数 (14日で一時閉鎖)

期間	7/10 (火)	7/11 (水)	7/12 (木)	7/13 (金)	7/14 (土)	合計
個人	19	29	26	2	9	85
団体	0	0	2団体(33)	2団体(20)	2団体(9)	62
累計	19	29	59	22	18	147

また期間中はタオルや飲料を冷やす氷の提供、資材の運搬等、多くの町民の皆様にお世話になりました。地域の皆様のご支援により、早急な支援活動を行う事が出来ました。



ご支援いただいた皆様
ありがとうございました



京たんば花火大会清掃活動(8月6日) 場所 水辺公園

8月5日(日)京たんば花火大会が開催され、夏の夜空にたくさんの綺麗な花火が打ちあがりました。翌日には水辺公園中心にたくさんゴミが散乱しており、今年も花火ゴミ拾いボランティア活動を実施しました。小さな花火ゴミが多く、拾うのが大変でしたが、袋いっぱいゴミを集めていただく事ができました。朝から日差しが強く照りつける酷暑の中、参加されたボランティアの皆さんお疲れ様でした!

花火大会翌日の花火ゴミ清掃活動は今年度で5回目となりました。今後も楽しく花火を見た後は、皆で美化活動を続けていきたいと思っています☆



ボランティアインタビュー③③

要約筆記ボランティア イフレンズ（丹波）

聞こえに不自由されている方に文字で情報を伝える活動をされています。



の だ や す こ
野田 康子さん

Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「在職中、お世話になったボランティアの方々に、少しでもお返ししたいと思っていた時に、ボランティアの方からお誘いの声をかけていただきました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？

「多くの人との出会いがあること。そして、出会った人たちからいろいろなことを学び、元気がもらえることです。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「少しでも喜んでもらえると、自分も何か役立っていると喜びや、やりがいを感じることができます。」



やま うち
山内 まつのさん

ボランティアインタビュー③④

収集 ボランティア めぐみ（瑞穂）

高齢になっても、ハサミ1本でできるボランティア活動！として障がい者問題の啓発活動などの資金となる古切手やプリペイドカードなどの収集・整理して送る活動をされています。
活動日…偶数月の1日



Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「友だちとの話の中で切手収集の話が出て、活動するようになりました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？

「気心がしれた皆さんと会って、話をしながら活動できるのが楽しいし、嬉しいです。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「8月が誕生日で、99歳になります。私は出来ることだけさせてもらっています。」



実勢ふれあいサロン(丹波)

実勢ふれあいサロンでは、通常のサロンとは別に今年の4月より毎月1回（月末の金曜日）、

【元気づくり体操】が開催されています。この体操は、なんたん元気づくり体操普及リーダー（3名）が、中心となって、行われています。

7月27日の【元気づくり体操】では、猛暑のせいで、普段より参加者は少ないものの、熱心に体操に励まれ、参加者からは、「普段、体を動かさないのここへ来て体操しているわ。」や「家では、なかなかやる気にならないのここへ来て体操している。」など参加者にとっても、体を動かすとてもいい機会となっています。



八田サロン(瑞穂)

7月21日（土）、この日は社協職員2名が出前サロン（災害ボランティアについて）を行いました。町が発行しているハザードマップを基に雨量の見方、避難の目安など、身近に起こりうる状況を想定しながら説明しました。その後は非常食の試食を行い、作り方や味の確認を体験しました。



参加された方は「非常食はちょっと味が濃いけど、災害時に食べる物が無かったら…と考えたら美味しいね。」「封を切ったら乾燥剤、調味料、スプーンまで入ってるんやね。初めて知りました」と話されていました。また、実際に和知地区で災害支援のボランティア活動をされた八田区民生委員の阪内さんが「他人事ではなく自分事として考えていくべき」と被災地の大変さとともに感想を述べられました。

みんなで手をつなごう会

7月22日（日）、道の駅【和】で警察、交通安全協会と手をつなごう会と合同で交通安全啓発運動を行いました。

会員さんは手作りのたすきを肩にかけ、道の駅を訪れる方に製作した折鶴や啓発物品を手渡し、交通安全を訴えました。この時期は暑さやレジャーの疲れから注意力が散漫になりがちです。この折鶴を見て、一人一人が思いやりのある運転に繋がる事を願います。



手作り介護用品 コスモス



手作り介護用品を製作されているボランティアサークル「コスモス」の方々が、7月23日（月）デイサービスセンターほほえみにおいて、利用者の方と巾着のヒモ作りを一緒に取り組みました。

巾着はコスモスの皆さんが作られ、利用者の方は、指やカギ針を使ってヒモを編まれました。

最初は「難しいな」「どうなってるんや」と言われていましたが、「だんだん編めて長くなってきた」「昔にカギ針で編み物してたからやってみようかな」と挑戦



される方もおられました。
今後、巾着へのヒモ通しも一緒に取り組む予定です。



↓ 作られた巾着を使い、^{いろど}彩り染めを体験しました！

おし花カードボランティア
てん か
天花

7月30日（月）、社協デイサービスセンターほほえみで、天花さん協力のもと「^{いろど}彩り染め体験」をされました。彩り染めとは葉に専用の絵の具を塗り、スタンプのように染める技法です。葉の葉脈を美しく染める事が出来ます。アイロンをかけるとしっかりと染められ、洗濯も出来ます。

この日は【コスモス】さんがつくられた巾着に様々な形・大きさの葉を当て葉脈を色付けていきます。葉に付ける塗料は5色あり、色に変化をつける事で見た目も華やかになっていました。最初は「難しいかな？」と言われていた方も後半はとても楽しそうに隣り同志で出来栄を見比べておられました。



お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課
丹波支所 ☎82-0126（榎川・友金） 和知支所 ☎84-1833（湊）